

決定の条件を分析する

100 XP

3 分

このユニットでは、ビジネス ニーズに対応するために使用する Azure 管理ツールを、専門家がどのような条件に基づいて決定しているのかを分析します。これらの条件を理解することは、製品間の微妙な相違点をより深く理解するのに役立ちます。

実行する必要があるのは 1 回だけの管理またはレポート作成アクションか?

Azure PowerShell および Azure CLI は、デプロイした仮想マシン (VM) の IP アドレスをすばやく取得したり、VM を再起動したり、アプリをスケーリングしたりできる Azure の管理ツールです。両ツールのカスタム スクリプトは、何度も実行する必要がある特定の操作に使用するために、お使いのローカル ハード ドライブに保持するとよいでしょう。

Azure CLI と PowerShell とは対照的に、Azure Resource Manager テンプレート (ARM テンプレート) には、繰り返しのデプロイのために、お使いのアプリケーションのインフラストラクチャ要件を定義します。ARM テンプレートは、1 回限りのシナリオ用ではありませんが、この目的に使用することもできます。ただし、1 回限りのシナリオの場合、PowerShell、Azure CLI スクリプト、Azure portal などのより機敏なツールを使用した方がよいでしょう。

ARM テンプレートには、ARM テンプレート自体では対応不可能なタスク用に PowerShell と Azure CLI の両方のスクリプトを含めることができることを念頭に入れておいてください。Azure の管理ツールは組み合わせることができ、これにより自分の特定のニーズに合わせ、適切なツールを柔軟に選択できます。

Azure portal では、すべてではありませんが、ほとんどの管理アクションを実行できます。Azure を学習する場合、リソースの設定や管理がまれに必要な場合 (またはレポートをビジュアル インターフェイスで表示したい場合) は、Azure portal で提供される視覚的表現を利用することをお勧めします。

ただし、クラウドを管理する役割の場合は、目で探してクリックすることだけに頼るのでは効率的ではありません。繰り返し可能なタスクを実行する場合、Azure CLI または PowerShell では使用する設定と情報をすばやく見つけることができ、最も柔軟です。

最後に説明する管理ツールは、iOS または Android のスマートフォンまたはタブレットからアクセスする Azure mobile app です。これは完全な機能を備えており、ラップトップがすぐに利用できないときに、問題を速やかに表示してトリアーजする必要がある場合に、最適な選択です。

1 つまたは複数のリソースを繰り返しセットアップし、すべての依存関係が適切な順序で作成されるようにする方法が必要ですか?

ARM テンプレートには、一貫して繰り返しデプロイする場合用に、お使いのアプリケーションのインフラストラクチャ要件を定義できます。検証ステップでは、すべてのリソースが依存関係に基づく適切な順序で、並列かつべき等に作成されます。

これに対して、PowerShell または Azure CLI を使用して、デプロイ用にすべてのリソースをセットアップすることもできます。ただし、これらのツールには検証ステップはありません。スクリプトでエラーが発生した場合に依存関係のあるリソースを簡単にロールバックすることはできず、デプロイは順番に実行され、一部の操作のみがべき等です。

スクリプトを作成する場合、Windows と Linux どちらの管理に関する経験があるか？

ユーザーまたはクラウド管理者に Windows での管理経験がある場合は、PowerShell を使用しましょう。ユーザーまたはクラウド管理者に Linux での管理経験がある場合は、Azure CLI を使用しましょう。実際、どちらかのツールを使用して、ほとんどの 1 回限りの管理タスクを実行できます。